

第8回調査グループ会合議事録

日時：昭和41年5月12日 午後1時

場所：原研東京本部 第1会議室

出席者：中島（龍），村田，中島（豊），田中，菊池，河原崎，若林，松延，浅見（哲），更田，井出野，森口，五十嵐，中村，神田，立花，八谷，安，岡本。

前回議事録の確認：（訂正）4月21日の第8回調査グループ会合は“調査グループComputer Index サブグループ第1回”とする。また4月22日の核データ・グループ第2回会合は“計算グループ第2回”とする。第7回調査グループ会合議事録確認。

議事

- 1 Atta-Harvey コードIIよりIVへの書き換え，改良作業の現状報告（立花）。
書き換えは完了した。さらに Γ ， Γ_n より Γ_r を算出し，いくつかのLevel についてのOptimization，共鳴パラメータより断面積およびTの算出はドックブラー，分解能をも含めてプログラムができています。現在この仕事はデバック中のもので委員会としての作業であると考えます。
- 2 7044の割当時間消化について（中島（龍））
委員会内で必要と考え，人員の点が問題の時は外部の人に依頼することを考えてもよいのではないかと。また外部から7044を用いEvaluationをすることについては，委員会で審査が必要であるが実施してもよい。
- 3 新しい計算コードのプログラミング計画について（4月22日 計算グループ第2回議事録確認より）

計画1「共鳴領域を含む高エネルギー領域での断面積計算コード」について

（五十嵐）

共鳴を含めた計算を行ないたい。OPTIC には角度分布は含めていないのでその点については炉定数グループの考えをききたい。

勉強会の希望。 始めから勉強会に参加して、コードの解説には加わらず、資料は入手希望であるが途中より加入する予定の者を考慮する。

計画 2 「高エネルギー領域での中性子核分裂断面積計算コード」について

(八谷)

シグマ委員会を通し Erba へリクエストを出してある。その返事をまつ
計画 3 「Moldauer 流の断面積コード」について (田中)

NEARREX をまず計算機に通してみる。さし当りコードの勉強会を開きたい。

計算センターで CDC 用コードを 7044 に直すか、まず CDC のまゝで計算機に通すかは勉強会グループにまかせる。

4 ワーキング・グループ編成の修正について

運営委員会に提出予定の案とし

調査グループと計算グループとをまとめる。さし当って計算関係の委員として中島(龍), 八谷, 田中, 島田, 五十嵐, 立花, 松延, 若林, 菊池(東大)。

従ってΣ委員会の Working Group として以下の案, 即ち

- | | | | | |
|----|---------|---|---------------------|------|
| I | Thermal | { | Thermal | , |
| | | | 計算グループ | |
| II | | { | (調査グループ) | |
| | | | (Thermal 以外の計算グループ) | |
| | | | | } 統一 |

III 炉定数

を提案する予定

5 Computer Index の報告と検討 (田中)

第一次案(田中, 河原崎, 森口)では Facility を入れた。要求する Output と Dictionary 作成が必要であり, データシート記入上の Key Word の問題を早く解決することが大切。

Computer Index サブグループとして下記の人を決め、Out put Format
の案を出す。

{ Koy Word : 田中, 浅見(哲), 中島(龍), 中島(豊)
Out Put : 田中, 森口, 河原崎, 井出野

6 サブグループ "共鳴パラメータの Computer Index" (更田)

更田, 中島(豊), 岡本での案を説明

Γ_f , Multi か Single による解析の区別などを入れてはとのコメント。

炉定数との関連について立花, 五十嵐が Channel になる。

7 J P D R の要望について (中島)

7月下旬迄に臨界計算, 燃料燃計算用群定数セット準備を Σ 委員会としての
作業として桂木氏を通して依頼あり。

調査グループとしては参加しないことを確認。

8 サブグループ "Facility 調査" (河原崎)

Neutron 関係としては INDSWG のデータで完成されたと考えてよい。
新しい Information があつた時に加える。

9 その他

○ 調査雑誌の再訂正 : Soviet Physics JETP 浅見(哲),

Nuovociment は NSA を含め, 森口, 八谷, 中島, 西村で検討する。

○ Neutron Technology Conference は資料がついてから報告予定(松
延)

○ EANDC の情報 : 次回に報告(中島)